

ニーズ調査結果の概要について（未就学児）

I ニーズ調査結果の概要

・調査対象

座間市内在住の就学前児童のいる3,000世帯

・調査の目的

座間市では、平成24年8月に成立した子ども・子育て支援法に基づき、座間市子ども・子育て支援計画を策定する予定であるが、その基礎資料とするため、就学前児童を持つ子育て家庭の現状と今後の子育て支援に対する要望・意見などのニーズ調査を実施した。

・調査期間

平成25年12月12日（木）から平成25年12月26日（木）まで

※回収率を上げるため、調査期間の延長を行った。

・調査項目

- 子育て家庭の状況（世帯構成、保護者の就労状況等）
- 定期的な教育・保育事業の利用状況
- 子育て支援事業の利用状況
- 土日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望
- 病気の際の対応
- 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用
- 小学校就学後の放課後の過ごし方
- 職場の両立支援制度

・回収結果

配布数	回収数	回収率
3,000	1,150	38.3%

・調査結果（未就学児）

（１）子育て家庭の状況について

ア 回答者の配偶関係

回答者の95.2%が「配偶者のいる」家庭となっており、「配偶者のいない」家庭は4.8%である。

イ 家庭での主な保育者

主な保育者は「母親」が最も多く53.2%、次いで「父母ともに」が45.9%、「父親」は0.2%に過ぎない。

（２）子育て環境について

ア 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

「緊急時には祖父母等にみてもらえる」が最も多く57.2%あり、「日常的に祖父母等親族にみてもらえる」が21.5%、「緊急時にみてもらえる友人・知人がいる」が18.9%、「日常的にみてもらえる友人・知人がいる」が3.5%となっている。

イ 子育ての相談相手

相談できる人は「いる」との回答が93.9%あった。

相談相手としては「祖父母等」が最も多く79.0%、次いで「友人・知人」が77.8%、「幼稚園教諭」が19.8%、「保育士」が17.6%となっている。

ウ 子育てのためにあればよいと思うサポート

「心配ごとなどを心よく聞いてくれるところ」「何時でも問合せができる窓口」など子育ての相談窓口や、「やむを得ない時に預かってくれる場」「いつでも気軽に預け入れ出来る施設」など子どもを安心して預けられる場所に対する要望が多い。

（３）保護者の就労状況

ア 母親の就労状況

母親の「フルタイム」就業者は14.4%で、「パート・アルバイト等」も含め、就労しながら子育てを行っているのは35.0%で、産休・育休・介護休業中を含めると40.9%となる。

就労している人では、就労日数は「5日」、就労時間は「8時間」が最も多い。

一方、「就労したことがない」と「以前は就労」を合わせると、約6割の人が現在は就労していない。

イ 父親の就労状況

父親の就労状況は「フルタイム」が98.2%となっている。

就労日数は「5日」、就労時間は「10時間」が最も多い。

ウ パート・アルバイトからフルタイムへの転換希望

母親のフルタイムへの転換希望は42.4%あるが、33.6%は「見込み無」と答えている。

父親は、対象者の全てがフルタイムへの転換を希望しているが、3分の2は「見込み無」と答えている。

エ 非就労者の就労希望（母親）

現在就労していない母親の就労希望は、「子どもが成長したら就労」が48.5%で最も多く「すぐにも就労したい」も含めると、77.0%の母親が就労を希望している。

希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が9割近くを占めている。

「パート・アルバイト等」での希望週就労日数は「3日」が最も多く、希望日就労時間は「4時間」が最も多くなっている。

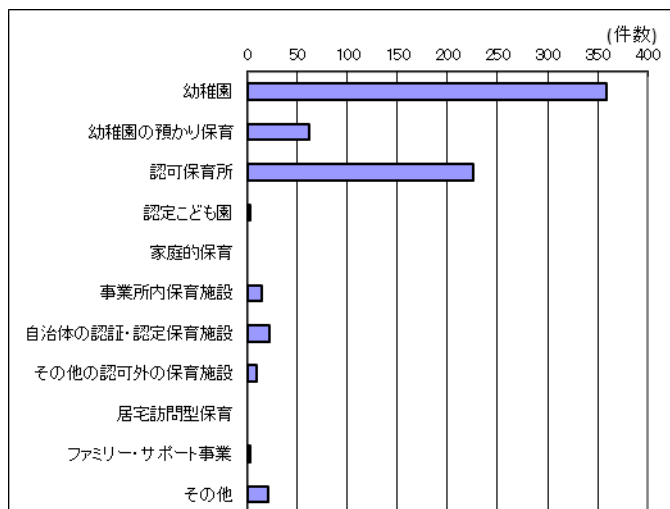
(4) 教育・保育事業の利用状況について

ア 教育・保育事業の利用状況

半数を超える 57.2%が、定期的な教育・保育の事業を利用している。
利用事業は「幼稚園」が最も多く、次いで「認可保育所」となっている。

■利用している教育・保育事業

教育・保育事業	回答数	割合
1 幼稚園	359	55.1%
2 幼稚園の預かり保育	62	9.5%
3 認可保育所	226	34.7%
4 認定こども園	3	0.5%
5 家庭的保育	0	0.0%
6 事業所内保育施設	14	2.1%
7 自治体の認証・認定保育施設	22	3.4%
8 その他の認可外の保育施設	9	1.4%
9 居宅訪問型保育	0	0.0%
10 ファミリー・サポート事業	3	0.5%
11 その他	21	3.2%
合計	719	
対象者数	652	



イ 利用日数

現在の利用日数は「週当たり 5 日」が 86.7%を占め、最も多くなっている。

希望利用日数では、「週当たり 5 日」が最も多いことに変わらないが、「週当たり 5.5 日、6 日」が 3.5%から 9.7%へ増えている。

■利用実績

週当たり利用日数	回答数	割合
0.5日	1	0.2%
1.0日	18	2.9%
1.5日	0	0.0%
2.0日	3	0.5%
2.5日	2	0.3%
3.0日	10	1.6%
3.5日	1	0.2%
4.0日	22	3.5%
4.5日	4	0.6%
5.0日	543	86.7%
5.5日	4	0.6%
6.0日	18	2.9%
6.5日	0	0.0%
7.0日	0	0.0%
合計	626	100.0%
無効 複数回答	1	
回答なし	25	
総回答数	652	

■希望利用日数

週当たり利用日数	回答数	割合
0.5日	0	0.0%
1.0日	8	1.7%
1.5日	0	0.0%
2.0日	3	0.6%
2.5日	2	0.4%
3.0日	4	0.8%
3.5日	3	0.6%
4.0日	14	2.9%
4.5日	2	0.4%
5.0日	398	82.7%
5.5日	5	1.0%
6.0日	42	8.7%
合計	481	100.0%
回答なし	171	
無効 複数回答	0	
総回答数	652	

ウ 利用時間

現在の利用時間は「1日当たり5時間」が32.1%と最も多くなっている。

希望利用時間は「1日当たり6時間」が22.9%と最も多くなっている。

■利用実績

日当たり利用時間	回答数	割合
1	11	1.8%
1.5	1	0.2%
2	6	1.0%
2.5	3	0.5%
3	5	0.8%
3.5	0	0.0%
4	11	1.8%
4.5	5	0.8%
5	200	32.1%
5.5	9	1.4%
6	88	14.1%
6.5	1	0.2%
7	54	8.7%
7.5	2	0.3%
8	59	9.5%
8.5	3	0.5%
9	56	9.0%
9.5	3	0.5%
10	65	10.4%
10.5	6	1.0%
11	29	4.6%
11.5	2	0.3%
12	5	0.8%
合計	624	100.0%
回答なし	27	
無効 複数回答	1	
総回答数	652	

■希望利用時間

日当たり利用時間	回答数	割合
1	4	0.8%
1.5	0	0.0%
2	5	1.1%
2.5	0	0.0%
3	1	0.2%
3.5	0	0.0%
4	5	1.1%
4.5	0	0.0%
5	35	7.4%
5.5	2	0.4%
6	109	22.9%
6.5	4	0.8%
7	78	16.4%
7.5	2	0.4%
8	71	14.9%
8.5	1	0.2%
9	46	9.7%
9.5	2	0.4%
10	50	10.5%
10.5	3	0.6%
11	31	6.5%
11.5	1	0.2%
12	19	4.0%
12.5	0	0.0%
13	6	1.3%
合計	475	100.0%
回答なし	177	
総回答数	652	

エ 利用場所と利用の有無

利用している教育・保育事業の所在地は80.7%が座間市となっている。

教育・保育事業を利用している理由としては、「子どもの教育や発達のため」との回答が最も多く、67.3%となっているが、「子育てをしている人が就労しているため」との回答も44.3%みられた。

利用していない理由としては、「必要がない」との回答が最も多く、次いで「子どもが小さいため」となっている。

「子どもが小さいため」の回答では、「3歳になったら利用」が最も多く50.3%、次いで「4歳」が33.7%となっている。

■利用理由

利用している理由	回答数	割合
1 子どもの教育や発達のため	439	67.3%
2 子育てをしている方が現在就労している	289	44.3%
3 子育てをしている方に就労予定がある/求職中である	18	2.8%
4 子育てをしている方が家族・親族などを介護している	6	0.9%
5 子育てをしている方に病気や障害がある	12	1.8%
6 子育てをしている方が学生である	0	0.0%
7 その他	12	1.8%
合計	776	
対象者数	652	

オ 今後の利用希望

利用したい教育・保育事業として最も多かったのは「幼稚園」で68.2%、次いで「幼稚園の預かり保育」が39.7%、「認可保育所」が37.4%となっている。

利用したい場所としては、90.8%が座間市内と回答している。

(5) 子育て支援事業の利用状況について

ア 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

地域子育て支援拠点事業を「利用している」回答者は 14.6%に過ぎないが、「今後利用したい」との回答が 25.1%みられる。

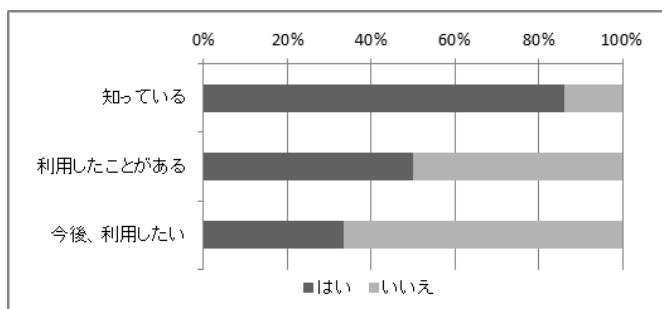
イ 事業の認知度

座間市で実施されている事業のうち、「母親・父親教室、両親学級、育児学級」、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」、「子育て支援情報誌（ざまっぷ）」については、認知度が8割を超えている。

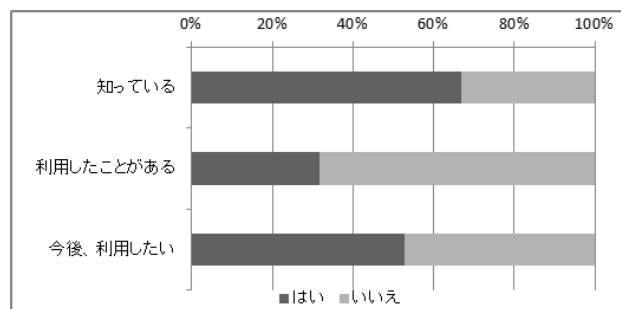
また、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」、「子育て支援情報誌（ざまっぷ）」については、利用経験も5割を超えている。

「今後利用したい」ものとしては、「子育て支援情報誌（ざまっぷ）」が最も多く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」、「市役所の子育て関連窓口」となっている。

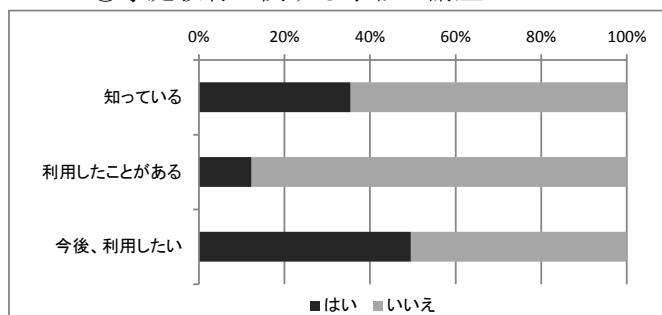
①母親・父親教室、両親学級、育児学級



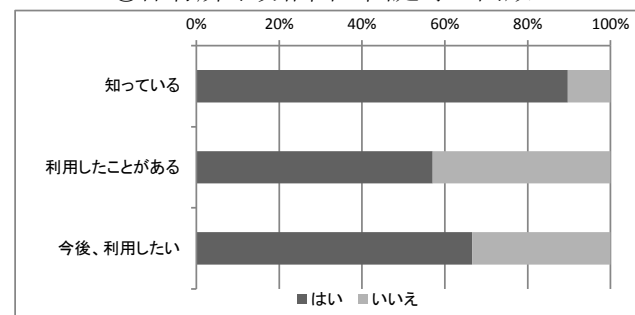
②健康センターの情報・相談事業



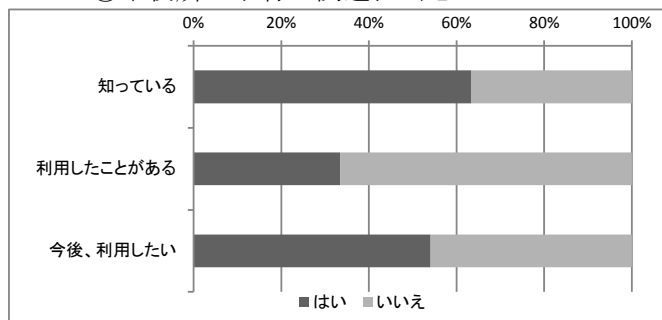
③家庭教育に関する学級・講座



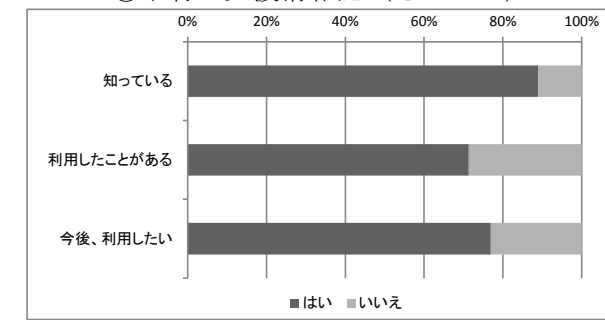
④保育所や幼稚園の園庭等の開放



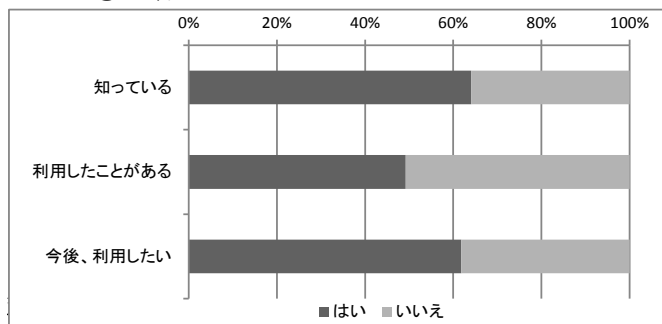
⑤市役所の子育て関連担当窓口



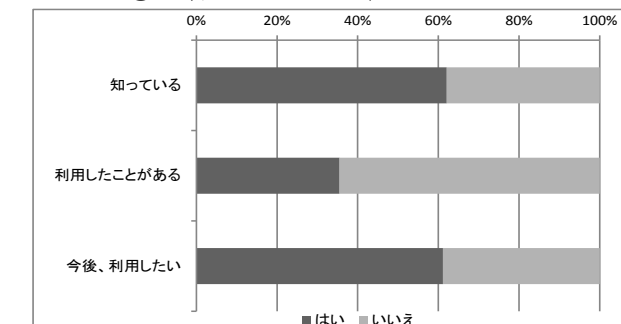
⑥子育て支援情報誌（ざまっぷ）



⑦子育てカレンダー



⑧子育てフェスティバル



ア 土曜日の利用希望

土曜日は「利用する必要はない」との回答が37.6%と最も多く、次いで「月1～2回利用したい」が24.4%、「毎週利用したい」が7.7%となっている。

「ほぼ毎週利用したい」場合の利用希望時間帯は「8時～18時」、「月に1～2回は利用したい」場合の利用希望時間帯は「9時～17時」が最も多くなっている。

イ 日曜日・祝日の利用希望

日曜日・祝日は「利用する必要はない」との回答が土曜よりも多く44.2%、次いで「月1～2回利用したい」が16.5%、「毎週利用したい」が2.9%となっている。

利用時間帯の希望は土曜と同じで、「ほぼ毎週利用したい」場合の利用時間帯としては「8時～18時」、「月に1～2回利用したい」場合の利用時間帯としては、「9時～17時」が最も多くなっている。

ウ 「月1～2回利用したい」理由

毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由としては、「月に数回仕事が入るため」が最も多く44.6%となっている。

また、「その他」として「夫婦2人の時間確保のため」などの意見がみられた。

エ 幼稚園利用者の長期休暇中の事業の利用希望

長期休暇中の幼稚園の利用希望については、「数日利用したい」が最も多く53.4%、「毎日利用したい」が11.5%であったが、一方、「利用する必要はない」との回答も35.1%あった。

「毎日利用したい」場合の利用希望時間帯は「8時～18時」が最も多く、「数日利用したい」場合の利用希望時間帯は「9時～15時」が最も多い。

オ 長期休暇中に週に数日利用したい理由

週に数日利用したい理由としては、「息抜き」が最も多く49.1%、次いで「買い物等の用事を済ませるため」が48.7%となっている。

また、「その他」として、「お友達と遊ばせてあげたい」「仕事がしたい」などの意見がみられた。

(7) 病気の際の対応について

ア 病気の際の教育・保育事業の利用について

最近1年間で、子どもが病気やケガで幼稚園や保育園を休んだことがあるのは77.6%となっている。

イ 病気の際の対処方法

子どもが病気の際の対処方法としては、「母親が休んだ」が最も多く、次いで「母親や父親のうち就労していない方が子どもをみた」となっている。

「その他」には「職場に連れて行った」という意見も見られた。

「父親が休んだ」場合の日数は「1日」から「3日」までが63.9%を占め、「10日」以上は12.3%となっている。

一方、「母親が休んだ」場合の日数は「1日」から「3日」までが40.8%、「10日」以上が33.4%となっている。

■ 病気の際の対処方法



ウ 就労している母親・父親が観た場合の病児・病後児保育の利用意向

半数以上が、子どもの病気の際に、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思っている。

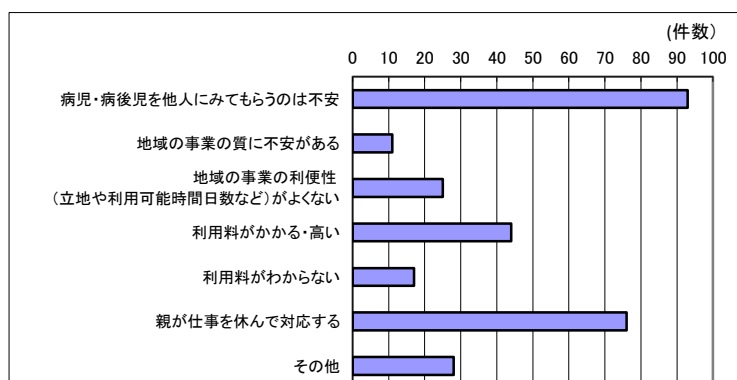
利用したい日数は、「3日」「5日」などの回答が多い。

病児・病後児を預ける施設の希望としては、「小児科に併設」が最も多い。

病児・病後児施設を利用したいと思わない理由としては、「他人にみてもらうのは不安」が最も多く、一方で、「親が休んで対応する」とする回答も多かった。

「その他」としては、「病気の時ぐらいいは側にいてあげたい」などの意見があった。

■病児・病後児施設を利用したくない理由



(8) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

ア 不定期の教育・保育事業の利用状況

不定期に利用している事業としては、「幼稚園の預かり保育」が最も多く、次いで「一時預かり」となっている。

年間の利用日数は、「一時預かり」では「3日」が多く、「幼稚園の預かり保育」では「6日～10日」が多い。

利用していない理由としては、「特に利用する必要がない」が69.1%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が26.1%となっている。

利用していない人のうち利用希望者は約6割おり、利用目的としては「私用」が最も多く77.0%、次いで「冠婚葬祭」が69.5%、「不定期の就労」が27.6%となっている。

利用希望日数としては、「私用」「冠婚葬祭」「不定期の就労」のいずれの目的においても、「6日～10日」が最も多くなっている。

■利用状況

不定期に利用している事業	回答数	割合
1 一時預かり	87	7.6%
2 幼稚園の預かり保育	193	16.8%
3 ファミリー・サポート事業	11	1.0%
4 夜間養護等事業：トワイライトステイ	1	0.1%
5 ベビーシッター	1	0.1%
6 その他	14	1.2%
7 利用していない	851	74.0%
合計	1,158	
対象者数	1,150	

イ 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況

保護者の用事で、子どもを泊りがけで預けなければならなかったことは、「なかった」が 82.0% となっている。

みてもらった相手は「親族・知人」が 86.6%で、保育事業等の利用者は 2.0%に過ぎない。

「仕方なく子どもを同行させた」との回答も 14.9%あった。

「親族・知人」にみてもらった場合の困難度については、「非常に困難」が 18.0%、「どちらかという困難」が 33.5%で、併せると 51.5%が「困難」と回答している。

（９）小学校就学後の放課後の過ごし方について

ア 小学校低学年の放課後の過ごし方

放課後過ごさせたい場所としては、「自宅」が最も多く 60.1%、次いで「習い事」が 52.8%となっている。

「児童ホーム」の要望は 29.8%あり、利用希望日数としては「５日」が最も多く、また利用希望時間帯は「下校時から１８時まで」が多い。

■放課後の過ごし方（低学年）

放課後過ごさせたい場所	回答数	割合
1 自宅	107	60.1%
2 祖父母宅や友人・知人宅	32	18.0%
3 習い事	94	52.8%
4 児童館	9	5.1%
5 児童ホーム	53	29.8%
6 ファミリー・サポート事業	2	1.1%
7 その他	59	33.1%
合計	356	
回答者数	178	

イ 小学校高学年の放課後の過ごし方

放課後を過ごさせたい場所としては「習い事」が最も多く 69.1%、次いで「自宅」が 62.4%となっており、低学年と順位が逆転している。

「児童ホーム」の要望は 19.1%あり、低学年同様、利用希望日数としては「５日」が最も多く、利用希望時間も「下校時から１８時まで」が最も多い。

■放課後の過ごし方（高学年）

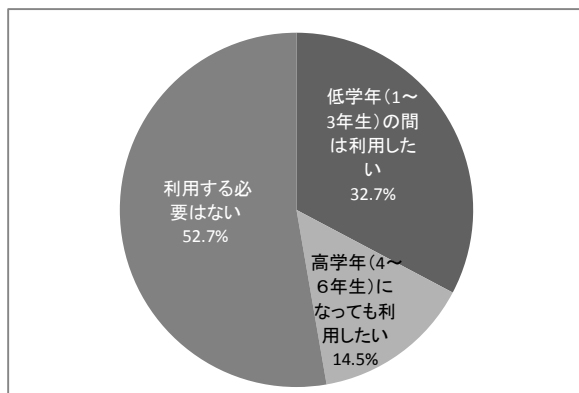
放課後を過ごさせたい場所	回答数	割合
1 自宅	111	62.4%
2 祖父母宅や友人・知人宅	35	19.7%
3 習い事	123	69.1%
4 児童館	12	6.7%
5 児童ホーム	34	19.1%
6 ファミリー・サポート事業	2	1.1%
7 その他	62	34.8%
合計	379	
回答者数	178	

ウ 土曜日の児童ホームの利用希望

土曜日の要望としては「利用する必要はない」が半数を超えているが、「低学年の間は利用したい」との回答も 31.8%あった。

利用したい時間帯としては「低学年の間」「高学年になっても」とともに 8時から18時が最も多くなっている。

■土曜日の児童ホームの利用希望

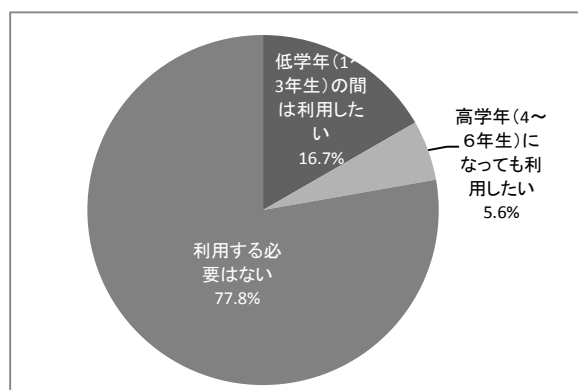


エ 日曜・祝日の児童ホームの利用希望

日曜・祝日の要望としては「利用する必要はない」が 77.4%と土曜よりも多いが、「低学年の間は利用したい」との回答も 14.2%あった。

利用したい時間帯としては「低学年の間」「高学年になっても」とともに「8時から18時」が最も多くなっている。

■日曜・祝日の児童ホームの利用希望

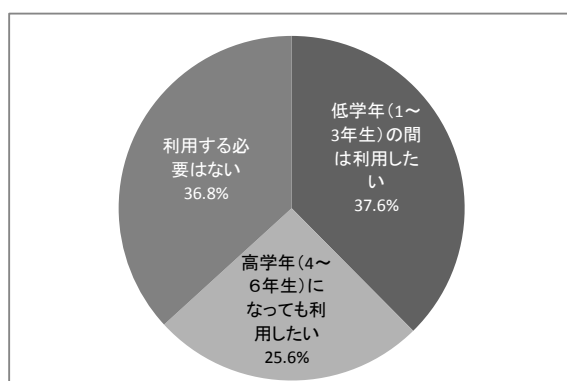


オ 長期休暇中の児童ホームの利用希望

長期休暇中の利用希望としては「低学年の間は利用したい」との回答が 37.6%と最も多く、「利用する必要がない」36.8%を上回っている。

利用したい時間帯としては「低学年の間」「高学年になっても」とともに「8時から18時」が最も多くなっている。

■長期休暇中の児童ホームの利用希望



（１０）職場の両立支援制度について

ア 育児休暇制度の取得状況

育児休暇を取得した人は、「母親」では 22.2%、「父親」では 2.0%となっている。

取得していない理由は、「母親」では「子育てに専念するため退職した」が最も多く 56.3%、次いで「職場に戻るのが難しそうだった」が 25.4%となっている。「父親」では、「配偶者が無職など利用する必要がなかった」が 41.9%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 41.0%となっている。（複数回答）

イ 育児休業制度に対する希望

育児休業取得後、職場に復帰した人は、母親では 73.7%、父親では 85.7%となっている。

年度初めの入所に合わせて復帰した人は、母親では 56.4%、父親では 33.3%となっている。

育児休業取得期間は、母親・父親ともに、実際の取得期間よりも長い取得期間を希望している。

希望より早く復帰した理由は、母親では「希望する保育園に入所するため」が 59.3%と最も多く、父親では「業務の節目に合わせるため」が 50.0%と最も多くなっている。

希望より遅く復帰した理由は、母親では「希望する保育所に入れなかったため」が 68.8%と最も多くなっている。

ウ 短時間勤務制度の取得状況

短時間勤務制度は、母親では「利用しなかった」が 51.4%で、父親では「利用しなかった」が 66.7%となっている。

利用しなかった理由としては、母親・父親ともに「職場に取りにくい雰囲気があった」が最も多く、母親では 39.1%、父親では 50.0%を占めている。